



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社テクノスマート
 コード番号 6246 URL <http://www.technosmart.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 高橋 進
 (氏名) 山田 靖
 配当支払開始予定日

TEL 06-6253-7200
 平成29年12月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,310	87.7	1,053	247.9	1,083	255.6	738	269.6
29年3月期第2四半期	4,427	14.8	302	—	304	—	199	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	69.66	—
29年3月期第2四半期	18.85	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	20,108	—	11,635	—	—	57.9
29年3月期	18,364	—	10,923	—	—	59.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 11,635百万円 29年3月期 10,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	14.00	20.00
30年3月期	—	8.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 6円00銭 特別配当 8円00銭

3. 平成30年 3月期の業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	33.8	1,350	33.9	1,400	35.6	950	37.1	89.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	10,821,720 株	29年3月期	10,821,720 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	226,614 株	29年3月期	226,614 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	10,595,106 株	29年3月期2Q	10,595,145 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
3. 補足情報	8
品目別売上高、受注高、受注残高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①経済情勢及び業界の状況

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国、欧州では好調な個人消費や金融緩和により堅調に推移し、中国でも各種政策の下支えにより景気の持ち直しの動きが見られました。国内経済では、輸出関連企業及び製造業を中心に緩やかな景気回復が続きましたが、米国政権の政策動向や地政学的リスクへの警戒感から、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下において、当社では、大きな成長が期待される電気自動車関連への車載用リチウムイオン二次電池の電極用やセパレータ用及び燃料電池用塗工乾燥装置、スマートフォン・タブレット端末用の光学フィルムやタッチパネル用塗工装置、医療材用塗工乾燥装置及び電子部品関連塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。その結果、海外における車載用リチウムイオン二次電池業界では、大型の設備投資が進められ、また海外でのディスプレイ用光学フィルム業界での設備投資もあり、これらの業界への販売に大きな伸びがありました。

②売上及び損益の状況

売上高は8,310百万円(前年同期比87.7%増)となりました。主な最終製品別売上高は、ディスプレイ部品関連機器が2,946百万円(前年同期比359.2%増)、機能性紙・フィルム関連塗工機器が1,351百万円(前年同期比119.5%増)、エネルギー関連機器が3,636百万円(前年同期比67.7%増)となりました。売上高に占める輸出の割合は、86.2%(前年同期は67.5%)となりました。売上総利益は、1,415百万円(前年同期比119.1%増)、売上総利益率は、17.0%(前年同期は14.6%)となりました。販売費及び一般管理費は、361百万円(前年同期比5.4%増)となりました。営業利益は、1,053百万円(前年同期比247.9%増)、経常利益は、1,083百万円(前年同期比255.6%増)、四半期純利益は、738百万円(前年同期比269.6%増)となりました。

③受注の状況

受注高は6,302百万円(前年同期比36.2%減)、その内輸出受注高は、4,916百万円(前年同期比41.1%減)となりました。受注高に占める輸出の割合は、78.0%(前年同期は84.5%)となりました。受注残高は6,335百万円(前年同期比26.0%減)、その内輸出受注残高は、5,028百万円(前年同期比30.1%減)となりました。受注残高に占める輸出の割合は、79.4%(前年同期は84.0%)となりました。

個別の受注金額は、中国市場など新興国を最終需要先とした国内企業をはじめ、中国や韓国企業向けでも、国内外の設備メーカーの価格競争は大変厳しいものとなっています。また、今後も光学フィルム関連と合わせて、車載用リチウムイオン二次電池の電極やセパレーター及び燃料電池などのエネルギー関連業界に対し、更なる販売強化に取り組みたいと考えております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

総資産は、20,108百万円(前期末比9.5%増)となりました。これは主に売上債権の増加によるものです。負債は、8,473百万円(前期末比13.9%増)となりました。これは主に仕入債務の増加によるものです。純資産は、11,635百万円(前期末比6.5%増)となりました。自己資本比率は57.9%(前期末は59.5%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期末に比べ1,173百万円増加し、6,679百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,597百万円（前年同期は得られた資金1,176百万円）となりました。これは主に仕入債務の増加によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、20百万円（前年同期は使用した資金183百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、403百万円（前年同期は得られた資金255百万円）となりました。これは主に長期借入金の返済によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、平成29年10月27日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成30年3月期通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、本発表日現在において入手可能な情報に基づき判断しており、当社の販売する設備は全て受注生産のため実際の業績は、受注時期及び納期など今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,606,559	6,779,796
受取手形及び売掛金	7,617,578	7,703,099
電子記録債権	245,323	496,717
仕掛品	222,661	353,675
原材料及び貯蔵品	42,513	46,630
その他	199,140	226,309
流動資産合計	13,933,776	15,606,227
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	755,210	736,572
機械及び装置（純額）	208,329	190,748
土地	2,026,482	2,026,407
その他（純額）	82,743	72,351
有形固定資産合計	3,072,766	3,026,080
無形固定資産	10,874	9,629
投資その他の資産		
投資有価証券	1,201,950	1,373,167
その他	147,208	96,141
貸倒引当金	△2,300	△2,300
投資その他の資産合計	1,346,859	1,467,008
固定資産合計	4,430,499	4,502,718
資産合計	18,364,276	20,108,946
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,324,256	2,568,932
電子記録債務	1,894,066	3,095,079
1年内返済予定の長期借入金	472,466	366,374
未払法人税等	323,212	361,387
前受金	639,518	420,071
賞与引当金	118,938	136,777
役員賞与引当金	16,443	16,560
その他	182,936	159,023
流動負債合計	5,971,837	7,124,205
固定負債		
長期借入金	369,444	221,220
退職給付引当金	590,619	619,560
資産除去債務	8,898	8,898
その他	500,013	499,834
固定負債合計	1,468,975	1,349,512
負債合計	7,440,813	8,473,718

（単位：千円）

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,003,125	1,003,125
資本剰余金	515,858	515,858
利益剰余金	8,022,363	8,612,596
自己株式	△109,308	△109,308
株主資本合計	9,432,038	10,022,271
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	386,984	508,923
土地再評価差額金	1,104,439	1,104,033
評価・換算差額等合計	1,491,424	1,612,956
純資産合計	10,923,463	11,635,228
負債純資産合計	18,364,276	20,108,946

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	4,427,906	8,310,785
売上原価	3,781,923	6,895,247
売上総利益	645,982	1,415,538
販売費及び一般管理費	343,007	361,634
営業利益	302,975	1,053,903
営業外収益		
受取利息	228	105
受取配当金	14,615	15,668
為替差益	-	10,068
その他	6,569	7,852
営業外収益合計	21,412	33,695
営業外費用		
支払利息	3,682	1,782
保険解約損	12,890	2,112
その他	3,159	288
営業外費用合計	19,733	4,182
経常利益	304,654	1,083,416
特別利益		
投資有価証券売却益	735	-
特別利益合計	735	-
特別損失		
出資金評価損	4,400	-
特別損失合計	4,400	-
税引前四半期純利益	300,989	1,083,416
法人税等	101,265	345,257
四半期純利益	199,724	738,158

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	300,989	1,083,416
減価償却費	54,925	52,678
受取利息及び受取配当金	△14,843	△15,774
支払利息	3,682	1,782
売上債権の増減額（△は増加）	1,115,013	△336,915
たな卸資産の増減額（△は増加）	△16,888	△135,130
仕入債務の増減額（△は減少）	△338,330	1,452,319
前受金の増減額（△は減少）	85,317	△219,447
その他	108,260	△2,434
小計	1,298,127	1,880,494
利息及び配当金の受取額	14,843	15,774
利息の支払額	△3,682	△1,782
法人税等の支払額	△132,956	△297,482
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,176,331	1,597,004
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△222,976	△18,972
投資有価証券の取得による支出	△653	△664
投資有価証券の売却による収入	910	-
その他	39,211	△659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183,509	△20,296
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	575,000	-
長期借入金の返済による支出	△245,081	△254,316
配当金の支払額	△74,786	△149,155
財務活動によるキャッシュ・フロー	255,132	△403,471
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,247,954	1,173,236
現金及び現金同等物の期首残高	5,205,322	5,506,559
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,453,277	6,679,796

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

品目別売上高、受注高、受注残高

（単位：千円、％）

品目	前第2四半期 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日		当第2四半期 自平成29年4月1日 至平成29年9月30日		（参考） 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	塗工機械	3,692,621	83.4	7,246,093	87.2	9,518,425	87.8
	化工機械	633,893	14.3	968,391	11.7	1,118,736	10.3
	その他	101,391	2.3	96,300	1.1	200,415	1.9
	計	4,427,906	100.0	8,310,785	100.0	10,837,577	100.0
	内輸出高	2,988,026	67.5	7,161,659	86.2	7,829,175	72.2
受注高	塗工機械	7,876,734	79.8	6,170,068	97.9	13,951,568	86.8
	化工機械	1,893,496	19.2	33,295	0.5	1,907,614	11.9
	その他	103,600	1.0	99,404	1.6	208,403	1.3
	計	9,873,830	100.0	6,302,768	100.0	16,067,585	100.0
	内輸出高	8,343,794	84.5	4,916,793	78.0	13,267,503	82.6
受注残高	塗工機械	6,687,935	78.1	5,860,940	92.5	6,936,965	83.1
	化工機械	1,852,401	21.6	446,580	7.0	1,381,676	16.6
	その他	18,896	0.3	27,778	0.5	24,674	0.3
	計	8,559,233	100.0	6,335,299	100.0	8,343,316	100.0
	内輸出高	7,191,250	84.0	5,028,944	79.4	7,273,810	87.2